

# 利用者のために

## 農業構造動態統計の概要

### 1 作成の目的

2005年農林業センサス（平成17年）から2010年世界農林業センサス（平成22年）にかけての経営耕地面積規模や農産物販売金額規模等の状況について、個々の農業経営体や販売農家の構成がどのような変動を経て現在に至ったか等の構造の変化を明らかにするものである。

### 2 集計対象と集計方法

#### (1) 農業経営体

2005年農林業センサス又は2010年世界農林業センサスで農業経営体に該当した経営体を対象として接続した上で、動態的变化がわかるように相関表形式で集計した。

#### (2) 販売農家

2005年農林業センサス又は2010年世界農林業センサスで販売農家に該当した世帯を対象として接続した上で、動態的变化がわかるように相関表形式で集計した。

## 用語の解説

### 1 農業経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

#### (1) 経営耕地面積が30 a 以上の規模の農業

#### (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 露地野菜作付面積    | 15 a               |
| 施設野菜栽培面積    | 350 m <sup>2</sup> |
| 果樹栽培面積      | 10 a               |
| 露地花き栽培面積    | 10 a               |
| 施設花き栽培面積    | 250 m <sup>2</sup> |
| 搾乳牛飼養頭数     | 1 頭                |
| 肥育牛飼養頭数     | 1 頭                |
| 豚飼養頭数       | 15 頭               |
| 採卵鶏飼養羽数     | 150 羽              |
| ブロイラー年間出荷羽数 | 1,000 羽            |

その他 調査期日前 1 年間における農業生産物の  
の総販売額50万円に相当する事業の規模

#### (3) 農作業の受託の事業

## 2 継続農業経営体

継続農業経営体とは、2005年農林業センサス時に農業経営体であって2010年世界農林業センサス時でも農業経営体であったものである。

なお、2005年農林業センサス時の調査区から2010年世界農林業センサス時にかけて他の調査区に転居したものの、引き続き農業経営体であるものも継続農業経営体とした。

## 3 継続農業経営体以外

継続農業経営体以外とは、2005年農林業センサス時に農業経営体であったが、2010年世界農林業センサス時では農業経営体とはならなかったものである。

## 4 接続不可

接続不可とは、2005年農林業センサス時において所在していた調査区から2010年世界農林業センサスまでの間に他の調査区に転居したもののうち転居先が不明であるため接続できないもの、2010年世界農林業センサスにおいて農業経営体又は販売農家でこの5年間に転居してきたもののうち、転居元が不明であるため接続できないものである。

このことから、接続不可の内訳としては、本来の意味において継続して農業経営体や販売農家であるものや、農業経営体や販売農家以外であるもの等の一部が含まれているので、利用に当たっては十分に留意されたい。

## 5 販売農家

販売農家とは、2005年農林業センサスでは平成17年2月1日現在（沖縄県は平成16年12月1日現在）、2010年世界農林業センサスでは平成22年2月1日現在で経営耕地面積が30a以上の農業を営む世帯及び経営耕地面積がこの規模に達しないか、又は全くないものでも調査日前1年間に於ける農産物販売金額が50万円以上であった世帯をいう。

## 6 その他

上記以外の用語については、2010年世界農林業センサス第2巻農林業経営体調査報告書 - 総括編 - の「利用者のために」を参照されたい。

## 統計表の編成

統計表に用いた全国農業地域区分は次のとおりである。

| 全国農業地域名   | 所 属 都 道 府 県 名      |
|-----------|--------------------|
| 北 海 道     | 北海道                |
| 東 北       | 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  |
| 北 陸       | 新潟、富山、石川、福井        |
| 関 東 ・ 東 山 | ( 北関東、南関東、東山 )     |
| 北 関 東     | 茨城、栃木、群馬           |
| 南 関 東     | 埼玉、千葉、東京、神奈川       |
| 東 山       | 山梨、長野              |
| 東 海       | 岐阜、静岡、愛知、三重        |
| 近 畿       | 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山 |
| 中 国       | ( 山陰、山陽 )          |
| 山 陰       | 鳥取、島根              |
| 山 陽       | 岡山、広島、山口           |
| 四 国       | 徳島、香川、愛媛、高知        |
| 九 州       | ( 北九州、南九州 )        |
| 北 九 州     | 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分     |
| 南 九 州     | 宮崎、鹿児島             |
| 沖 縄       | 沖縄                 |

## 利用上の注意

本書は、農業経営体については8種類、販売農家については3種類の統計表を掲載しているが、統計表の見方は次のとおりである。

### 1 横系列の見方

統計表の横系列は、平成17年時における階層別の農業経営体又は販売農家群が平成22年までの5年間にどのような階層へ移動したかをみることができる。

### 2 縦系列の見方

統計表の縦系列は、平成22年時における階層別の農業経営体又は販売農家群が平成17年の時点においてどの階層に存在していたかをみることができる。

## 報告書の刊行一覧

農林業センサスに関する報告書は、次のとおりである。

第1巻 都道府県別統計書（全47冊）

第2巻 農林業経営体調査報告書 - 総括編 -

第3巻 農林業経営体調査報告書 - 農林業経営体分類編 -

第4巻 農林業経営体調査報告書 - 農業経営部門別編 - （全3冊）

|                      |
|----------------------|
| 第1集 水稻、畑作、小麦、大豆      |
| 第2集 野菜、果樹、花き・花木、施設園芸 |
| 第3集 酪農、肉用牛、養豚、養鶏     |

第5巻 農林業経営体調査報告書 - 抽出集計編 -

第6巻 農業構造動態統計報告書

第7巻 農山村地域調査報告書 - 都道府県編 -

第8巻 農業集落類型別統計報告書

別 冊 英文統計書

別 巻 総合案内

## 問合せ先

農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課

センサス統計室農林業センサス統計第1班

電話：03 - 3502 - 8111 内線3665

直通：03 - 3502 - 5648